



綾川町立綾川中学校 完全復活の卒業式

～ 綾川中学校第2回卒業証書授与式の開催 ～

3月12日(火)、あいにくの雨模様でしたが、中学校における最大の行事である卒業証書授与式を無事挙行することができました。多数のご来賓、保護者の方々のご列席のもと、1・2年生も体育館で参列し、「完全復活の綾川中学校」の象徴となる学校行事となりました。

綾川中学校第2回の卒業式でしたが、今は綾川中学校の新たな文化を地道に築きあげている真っ只中です。今後更に、その伝統を進化・発展させることが大切と考えます。こうした意味において、今日の卒業式では、令和6年度の、そして未来の綾川中学校につながる子どもたちの姿が随所に見られたので、以下に紹介します。



【卒業証書授与】

- 3年生が学級担任の呼名に対してはつらつと返事をする様子から、中学校生活の充実ぶりと3年間の成長が感じられたこと(3年生)。
- ご来賓の祝辞等の中の3年生に対するお祝いの言葉「卒業おめでとう」や、「一同礼」の号令に対して深々とお辞儀をするなど、礼を尽くす気持ちを態度に表出させたこと(全校生)。
- 式典中の国歌斉唱、校歌斉唱、式典後の卒業生合唱と、校内音楽祭で培ったすばらしい歌声そのままに歌唱できたこと。特に最後の卒業生合唱は、鳥肌が立つような、思わず涙がこぼれるほど感動的な歌声だったこと(全校生・3年生)。
- 式冒頭の体育館入場、式の最中、式後の見送りの際、マスクを外した晴れ晴れとした表情で胸を張って歩めたこと(3年生)。
- 卒業式の会場設営及び片付けで、自分の役割を理解し、てきぱきと行動できたこと(2年生)。
- 椅子の縦横の整頓、絨毯のゆがみの修正、ほこり取り等、細かなところにまで徹底的にこだわり、美しい会場設営を目指して懸命に作業を行ったこと(2年生)。
- 式場周辺の環境整備で、隅々まできれいにしようと懸命に清掃を頑張っていたこと(1年生)。
- 微動だにしない話の聞き方は、日頃からの授業で培われた集中力の賜物であること。また、ここぞというときに、緊張感のある振り舞いができる行動様式が身に付いていること(全校生)。
- 見送りでは、整然と隊列をつくり、吹奏楽部の生演奏の中、温かな拍手を惜しみなく送り続けられたこと(1・2年生)。
- 校内装飾、激励メッセージづくり等、全校生で卒業をお祝いしようとする心温まる数々の取組ができたこと(1・2年生、生徒会)。

上記のことは、一朝一夕にはできるものではありません。これまでの学校生活での教育活動それぞれに真摯に取り組み、失敗や成功の体験を重ねながら人間的な成長を遂げ、卒業生は自信と誇り、1・2年生は3年生への畏敬の念を高めているからこそ、上記の姿につながったと考えます。

「人は人に憧れて育つ 人は人に憧れられて育つ」、まさにこの言葉がぴったりと当てはまる上級生と下級生の関係が構築されていると感じます。

生徒会テーマ「2nd season Episode 5」は「かける」(※右写真 R6.2.26 発表済)です。綾川中学校開校以来2年間で築いた学校文化が、令和6年度、そして綾川中学校の未来へつながる「懸け橋」になってほしいと願っています。

写真左

【卒業生見送り】

写真右

【卒業生合唱】

